

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和8年第2回 宮城県泉警察署協議会
開 催 日 時	令和8年6月12日（金）午後3時30分から午後4時35分まで
開 催 場 所	宮城県泉警察署3階道場
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～大場信哉会長、大泉知保委員、枡澤慶悦委員、高澤忠洪委員、板倉恵子委員 ・ 欠席委員～堀越康寛副会長、南菌愛委員、齋藤直人委員、小澤洋之委員、高橋歩委員 2 警察署側 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、少年健全育成官、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

議 事 概 要	1 報告事項等 (1) 管内の治安情勢について ア 令和8年5月末における刑法犯認知・検挙状況について(刑事第一課長) 刑事第一課長から令和8年5月末における刑法犯認知・検挙状況について説明がなされた。 イ 令和8年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況等について(刑事第二課長) 刑事第二課長から令和8年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況、SNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺の被害状況について説明がなされた。 ウ 令和8年5月末における人身安全関連事案の発生状況について(生活安全課長) 生活安全課長から令和8年5月末における人身安全関連事案の発生状況について説明がなされた。 エ 令和8年5月末における交通事故の発生状況等について(交通課長) 交通課長から令和8年5月末における交通事故の発生状況等について説明がなされた。 オ 委員からの質問、意見、要望 【委員】 SNS型投資詐欺の被害者に特徴はあるか。 【刑事第二課長】 40代から60代の現役世代の方が多く被害にあっている。 【委員】 外国人居住者が増えていることに対して、漠然とではあるが外国人による犯罪発生の増加などを不安に感じている住民がいると聞いている。 地域住民の方を安心させるためにはどのように説明をしたらよいか。 【署長】 宮城県の独自施策として、県内企業の外国人材確保・定着を促進していることから、今後、外国人居住者が減少することはないと思われる。 宮城県内で犯罪を犯す外国人の傾向として、在県の外国人よりも、他県在住の不法残留者が徒党を組んで宮城県内に犯
---------	---

罪を犯しに来るという傾向が多い。

泉警察署管内の外国人居住者が増加していることが、外国人犯罪の増加に直結している訳ではないので、外国人居住者が増えていることに対して不安や恐怖を強く感じる必要はないと思われる。

(2) 特殊詐欺被害防止対策について

生活安全課長から、特殊詐欺仮想体験ツールや特殊詐欺対策アプリを活用した特殊詐欺被害防止対策等について説明がなされた。

【委員】

SNS型投資詐欺などの防止のため、泉警察署独自の取組として大型家電量販店を選んだ理由は何か。

【生活安全課長】

SNS型投資詐欺などの被害が多い40代から60代の現役世代にダイレクトに広報をするため、管内の家電量販店に協力要請をしたところ、快く引き受けていただけたことから、各店舗の従業員による特殊詐欺対策アプリの利用促進とインストールの支援をしていただくことになった。

家族内だけではなく広く地域住民に広まるように、携帯電話機の新規契約時や機種変更時に広報していただくことになっている。

【委員】

40代から60代の現役世代が家電量販店で携帯電話機の新規契約や機種変更をする割合は多いのか。

【署長】

統計的な数字は分からないが、防犯施策を進める入口として、特殊詐欺対策アプリ等をインストールしやすい、させてもらいやすい、協力していただきやすい大型家電量販店にまずは協力要請をした。

被害防止ポスターを掲示してQRコードの読み込みを推進しても、現実的に実効性が見込めないことから、広報だけではなく実際に触れてもらえる機会を増やしたいという思いから始まった施策である。

この先どのように進めていけるか検討中であるが、犯行ツールにもなっている携帯電話機の新規契約などの機会を利用して、店員の方々から特殊詐欺対策アプリのインストールや特殊詐欺仮想体験ルーツの利用を積極的に手助けしてもらい、

官民一体となった特殊詐欺防止活動を推進していきたい。

本来であれば犯罪集団の手口の巧妙さや被害の実態などを被害が多い世代の方に直接広報を実施したいところであるが、40代から60代の現役世代の方々に直接広報できる機会が少ないことから、まずは特殊詐欺仮想体験ツールがあることを認識していただき、家に帰った時などのすき間時間に利用・体験していただければ、被害を減らすことができると思われる。

【委員】

現役世代の方は、携帯ショップで手続きをした方が安心と考える方が多いと思うので、携帯ショップとの連携も視野に入れば更に効果が出てくるのではないかと思います。

【委員】

ネット広告やライン広告などで被害防止広報を行えば、各年代を狙ってダイレクトに広報をすることもできると思うので、被害防止に効果的だと思われる。

【署長】

県警本部と連携した施策や警察署独自の取組として何か進められることはないか現在検討しているが、将来的なビジョンを見据えて被害防止対策を進めていく必要があると感じている。

【生活安全課長】

県警本部の広報相談課や生活安全企画課で、XやInstagram、ユーチューブなどを活用した広報や施策紹介を実施していることから参考にしていきたい。

【委員】

警察でSNSをやっているということを認知していなかったことから、社内に戻ったら紹介したいと思う。

【委員】

特殊詐欺仮想体験ツールを紹介していただいたが、地域住民の方にも共有してよいのか。

【署長】

特殊詐欺仮想体験ツールは大阪府警のホームページに掲載されているものなので、安心して広めていただきたい。

(3) その他（質疑等）

【委員】

勤務する学校で、学生から「友人のSNSアカウントが乗っ取られていたことを知らずに、依頼をされてお金を送金し

てしまった」という相談を受けたことがあるが、若年層でもできる被害防止対策があれば教えていただきたい。

【署長】

SNSアカウントの乗っ取りは以前から問題になっているが、現在でも完全な防止対策は構築されていない。

SNSアカウントが乗っ取られた可能性がある時点で、SNSのシステム元に連絡をしてアカウントを変える、万一、現金を送金している場合は、送金元の金融機関に連絡し送金を止めてもらうなどの対応が考えられる。

若年層の方々であれば、基本的にSNSでのやり取りが中心になると思うが、SNSでお金の話が出た場合は、一度本人の声を確認した上で対応するように指導していただきたい。

2 次回開催日程について（警務課長）

次回の泉警察署協議会は、令和8年11月ころに開催したい。